

市民の

W  
A

## PTA 連絡協議会 (P連)

市内小中学校のPTA会長で構成され、地域の活動を支え続けてきたPTA連絡協議会。今後その役割がますます期待されています。



平成26年度PTA連絡協議会会長 秋山 聡さん

地域の子ども、大人たちの交流を促進するために

市内の小中学校それぞれにあるPTAはその学校に通う子ども、保護者と教職員で構成される団体。保護者と教員が交流を深めることで、子どもの健全育成のために活動していますが、各校のPTA会長が集まり話し合い、青少年問題協議会、子供を守る武蔵野連絡会などへの提言を行っているのがPTA連絡協議会、通称「P連」です。

昭和36年に武蔵野市立小中学校PTA連絡協議会として発足。当初から予算会計委員会、郊外生活指導委員会、成人委員会の3つの専門委員会を持つ、現在のP連に近い組織構成でした。昭和40年代には「婦人運動会」や「PTAコーラスのつどい」など会員の交流を深めるイベントがスタート。昭和51年にはP連の活動を記録した「校外生活指導のあり方」が発行され、昭和58年に「はなみずき」として刷新。広くPTAの一般会員にP連の活動を知らせる重要な役割を担うようになりました。

”Pフェス”として再出発する「PTAコーラスのつどい」

現在のP連の主な活動は「はなみずき」の発行や「PTAコーラスのつどい」の運営など。昨年度P連会長の秋山聡さんは「仕事仲間でもない同級生でもない同世代の人たちが集まって一緒にPTAの仕事をする、文化祭のような気分になります。地域の大人が交流することで結果、子どものためにもなります」と言います。歴史を積み重ね今年50回目の節目を迎える「PTAコーラスのつどい」は名称が「PTAフェスティバル」に生まれ変わり、コーラス以外の演目も参加可能になりました。時代に合わせて変化していくPTA。その根幹を支えているのがP連なのです。

### 武蔵野市立小中学校 PTA連絡協議会

市内の市立小中学校18校それぞれにあるPTAの各代表者(PTA会長)で構成。子どもの健全育成のための話し合い、活動を行い、その活動記録「はなみずき」の発行や関連イベントの企画運営を担当。



PTAコーラスのつどい



武蔵野公会堂での研修会。

P連の活動の記録として毎年発行されている「はなみずき」

